平成２４年(２０１２年)8月１７日　静岡新聞朝刊

SBSカップ2012 国際ユースサッカー

第1日

第36回SBS杯国際ユースサッカー（日本サッカー協会、県サッカー協会、静岡新聞社・静岡放送主催、エコパハウス共催）は16日、藤枝総合運動公園サッカー場で開幕した。来年のU―20W杯を目指す日本、韓国、ポルトガルのU―19（19歳以下）代表と18歳以下で編成した静岡ユースがリーグ戦で争う。U―19日本代表はFW久保裕也（J2京都）の1得点2アシストの活躍でU―19ポルトガル代表に3―1と逆転勝ちした。静岡ユースはU―19韓国代表に挑んだが、1歳上のスピードとパワーに屈し0―2と敗れた。17日は県営草薙陸上競技場でU―19日本代表―静岡ユース、U―19韓国代表―U―19ポルトガル代表を行う。

きのうの結果
韓国 2―0 静岡
日本 3―1 ポルトガル

きょうの試合
日本 16:00 静岡
韓国 18:20 ポルトガル
（会場は草薙陸上競技場）

日本 ポルトガル逆転

静岡、韓国に完敗

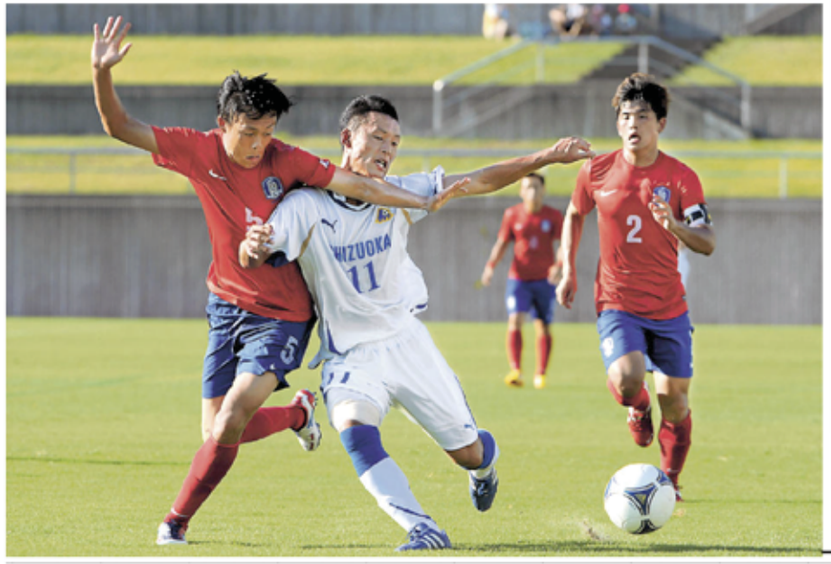
守備、冷静さ欠く

攻撃的なスタイルを貫く韓国に静岡は決定機を作れず完敗した。

開始直後から、猛攻を受けた。体の強さを生かした強引な突破に、守備陣が冷静さを失った。前半14分、中盤のスペースから右サイドに振られ崩された。望月主将は「相手のスピードや強さに慣れないうちに失点してしまった」と悔やんだ。

攻撃陣も不発だった。前半は加賀美のシュート1本のみ。相手の圧力の前に前線にボールがつながらず、縦への展開を欠いた。後半は中盤でのパスワークを取り戻し、何度か好機も作ったが、ゴールを脅かすまでには至らなかった。加賀美は「動き出しのタイミングは悪くなかったが、中盤や（2トップを組む）佐野とかみ合わず、いい体勢でボールをもらえなかった」と唇をかんだ。

チームは2日前に集まったばかり。連係面の不安を残したが、望月主将は「後半は相手の攻めにも対応できた。試合の中で良くなっていきたい」と前を向き、残り2戦の巻き返しを誓った。



静岡ユース―U―19韓国代表　前半、韓国代表DFと激しく競り合う佐野（11）＝藤枝総合運動公園サッカー場

韓国 序盤先制し堅守

○…U―19韓国代表は開始直後から攻勢に出た。両サイドのスピードで揺さぶり、14分に中央のユ・スンウがイ・グァンフンとのパス交換から先制した。

リードした後半はペースダウンし、シュート3本だけ。静岡ユースにボールを保持されたが、危ない場面はなかった。「初戦なので安全に戦ったが、組織的な守備ができた。失点しなかったことが一番」とソ・ヒョウォン監督は話した。

韓国はスペインで行われている大会にも代表を送り込んでいる。指揮官は「（SBS杯は）大学生が中心だが、スペインに行っているチームと差はない」と話す。次戦からは同年代のライバルとの戦い。「思っていた通りの準備ができた」と自信をのぞかせた。

韓国国代表
4・4・2
ソン
ヨン　ヨン
ヒョウ　ヒョウ
ヒョウ　ヒョウ
ヒョウ　ヒョウ